

(題字・三輪休和)  
94号  
2017年8月発行

松古窯 松阪萬古作品展



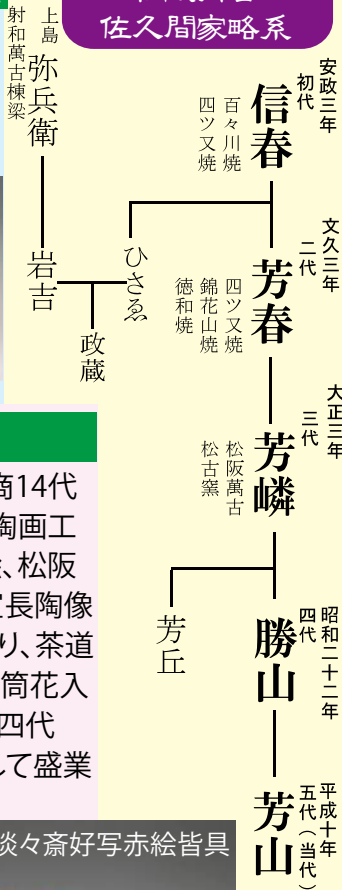
2 SAT 3 SUN

同時開催 長月の茶会

初代信春...百々川焼

松阪萬古は、安政三年 伊勢国飯高郡井村(現井村町)の郷土初代佐久間吉郎兵衛 信春が同郡広瀬の里に開窯し百々川萬古と名付け、茶壺・茶碗・花器などを製作したことに始まる。信春の娘の義父が射和萬古(安政三年竹川竹斎開窯の棟梁上島 弥兵衛)であり、指導協力を得た。作品は津城主藤堂家に納入し、大名御用窯となった

松阪萬古 佐久間家略系



二代芳春...四ツ又焼(下村焼)・錦花山焼・徳和焼

他に射和萬古の陶工や伊賀丸柱の職人などによる四ツ又焼(文久3年)が飯高郡下村大日(現下村)にあり片口・急須などの日用品が製作されたが明治11年二代平四朗芳春がこれを引き継ぎ錦花山焼を開窯。



明治40年(1907)に松阪の豪商長谷川可同の勤めにより徳和焼と命名され茶道具などを製作。射和萬古と百々川焼の二系統を引き継ぐ作品がみられる。

三代芳嶙・四代勝山・五代芳山...松阪萬古・松古窯

大正3年三代亥之助芳嶙が継承、この頃松阪本町の豪商14代小津笹川庵のすすめにより「松阪萬古」と改名。芳嶙は陶画工として絵付(中でも人物花鳥)が得意で、道中絵、浮世絵、松阪名所の銘々皿や宣長翁遺愛の鈴七種を型どった陶鈴宣長陶像等がある。小津家の紹介で家元に茶道具の指導を賜り、茶道裏千家淡々斎より御好窯として「松古」の印を賜り、津泉筒花入赤絵皆具など茶人愛用の茶道具が製作された。その後四代勝山が引継ぎ、三千家をはじめとした茶道具の窯元として盛業し平成10年五代芳山がその技を引き継ぎ現在に至る。

尚、表千家においては即中斎の掬梅水指・北野大茶会水指・自筆赤絵福寿茶碗など御好物がある。  
※平成29年10月27・28日茶道裏千家淡交会東海地区大会が松阪市内で開催される

5代芳山 淡々斎好写赤絵皆具



- 蓋置 宗慶 竹
- 菓子 餡豆腐 源芳製
- 菓子器 南鏡銘々皿
- 建水 御好モウル累座 鵬雲斎箱
- 茶碗 網干大棗 松悦造
- 茶器 刷毛目・桐竹平茶碗一雙
- 茶碗 淡々斎箱 初代久世久宝造
- 替 波絵平茶碗 白井半七造
- 茶杓 宗頭竹 歌銘ひと村雨
- たよりあらばひと村雨に たちよらむ
- 笠取山の峰の松風
- 大西浄心造



文月のプチ茶会には猛暑の中多くの皆様に来喫頂きましてありがとうございました。当日の会記を掲載いたします。

8月号 季節のお買得商品

☎ 0598-21-3178



嘉一 稲穂に雀茶碗 ¥22,600→¥15,800



陽春 菊色絵茶碗 ¥19,600→¥13,700



中村良二 灰釉秋草茶碗 ¥18,600→¥13,000



中村良二 灰釉茄子茶碗 ¥18,600→¥13,000



加藤よしゑ 菊青海波茶碗 ¥33,300→¥23,300



坂下雄峰 桐扇面兎香合 ¥8,800→¥6,200



米重画 籠に秋草画替横物 明道賛 清風 ¥66,600→¥46,600



福本積應茶杓 初雁 ¥13,400→¥9,400



戸上明道茶杓 菊の香 ¥14,500→¥10,100



金谷宗林 朝顔蓋置 ¥25,900→¥21,000



杵型月に兎蓋置 ¥6,500→¥4,500

..編集の窓..

蓮華升麻 レンゲシユウマ キンボウゲ科の多年草 日本固有種で八月頃東北地方から近畿地方にかけて深山のかけての湿り気のある林下に生える。名前の由来は、花が蓮(ハス)に、葉が晒菜升麻(サラシナシユウマ)に似ているところからきている。薄紫色の花はとも涼しげで、その透明感がろう細工のよう。茎が細く、花は下を向いて咲くので宙に浮いているようにも見え日本の群生地とされる奥多摩の御岳山では森の妖精として親しまれている



蓮華升麻 photo by S,A

ご案内

当店では、皆様にお抹茶を楽しんで頂けるようお待ちしております。近くにお越しの際は気軽に遊びにいらして下さい(女性スタッフより)

お客様のご要望に応じて社員が定期的に三重県内にお伺いさせていただいております。何なりとお申し付け下さいませ。  
ギャラリー森田ホームページ <http://www.gallery-morita.co.jp/>  
gallery morita スタッフぶろぐ <http://ameblo.jp/gallerymorita/>

facebook ■ご不要になりましたお道具などどうぞお売り下さい。ご覧ください!

月刊「ぎやらいさん」編集プロジェクト



朝顔と猫 開花が待ち遠しいです